

政策シート

(政策名) 園・学校や教師の力の向上

(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	15,424	14,986	17,709	16,017	22,581
決算	12,462	12,635	15,102	14,074	
人件費(A)	142,100	146,300	142,800	140,000	121,100
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	154,562	158,935	157,902	154,074	143,681

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
研究指定校の数(校)	校	8	目標	7	7	7	7	7
			実績	8	7	7	7	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施した。
- 教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行った。
- 教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教育研究・指導事業		○	○		104,457	16,257	12.6				
2	教育指導運営経費(一般諸経費のみ)					39,224	6,324	4.3			1.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						143,681	22,581	16.9			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教育研究・指導事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 子供たち一人ひとりに基礎・基本を定着させるとともに「生きる力」を育むため、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図る。
 【事業対象】 市内小中学校・高等学校の教職員

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.77】
 小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の大意と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	9,549	9,629	12,778	10,298	16,257
	決算	8,220	8,207	10,514	9,148	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	8,220	8,207	10,514	9,148	16,257
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		107,100	112,000	112,000	109,200	88,200
人工	正規	15.3	16.0	16.0	15.6	12.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

小中学校における指導の充実を図り、共通課題等の解決を図る

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
研究指定校の数(校)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	7	7	7	7	7	8	8
実績値	8	6	7	7			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
指定校の成果発表に参加した小・中学校の数(校)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	149	149	146	146	146	146	146
実績値	149	146	142	144			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
全校への計画訪問による指導実施率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値				100	100	100	100
実績値				100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施した。
- ・教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行った。
- ・教育研究校を6校指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進した。
- ・教育研究指定校のうち、指定2年目の3校で研究成果を発表した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

小中学校の教育(授業)の充実及び改善を図るため、学校訪問、新学力調査の実施、教育研究校の研究を推進した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

小中学校における指導の充実を図るため、学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。

教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の大要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

補助シート (事業名) 教育研究・指導事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
77	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。	指導主事による学校訪問を実施し、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図るとともに、小中学校におけるキャリア教育の指導の充実を図る。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
35				

事業シート (事業名) 教育指導運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	5,875	5,357	4,931	5,719	6,324
	決算	4,242	4,428	4,588	4,926	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	4,242	4,428	4,588	4,926	6,324
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		35,000	34,300	30,800	30,800	32,900
人工	正規	3.8	3.7	4.0	4.0	4.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 園・学校や教師の力の向上
(予算費目名) 教育センター費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	35,433	33,837	30,955	32,978	37,481
決算	28,984	26,927	25,991	24,688	
人件費(A)	90,400	90,400	90,400	90,400	107,200
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	119,384	117,327	116,391	115,088	144,681

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
研修参加者の満足度 (%)	%	87	目標	70	70	75	75	85
			実績	58	79	83	85	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 進んでいる

教職員研修事業では、年間研修計画に基づいた分野別の研修等を実施し、述べ17,650人の研修参加者があり、資質の向上を図った。また、浜松市独自の教員免許状更新講習を実施し、626人が受講した。アンケートによる研修参加者の満足度を指標としており、研修分類によって満足度のばらつきが見られる。政策の指標における満足度は、昨年度83%に対して今年度85%と上昇し目標値75%を上回ったが、事業シート1の情報教育に関する研修参加者の満足度は55%と目標値を下回っている。全体的には研修計画の見直し効果が表れたと考えられるが、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対する対応が今後の課題となる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	教職員研修事業	○	○	○		109,243	32,243	9.0			5.0
2	教育センター管理運営経費					35,438	5,238	3.0	1.0		2.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						144,681	37,481	12.0	1.0		7.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教職員研修事業

◇事業目的・事業対象

効率的、かつ高度な研修をとおして、教職員の資質の向上を図り、教職に就く使命感を高め、指導力の向上を図ることを目的とする。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.36】【R1-R4重点戦略項目No.91】

浜松市教員育成指標を踏まえて、全ての研修を体系的かつ効果的に実施するための研修計画を立てるとともに、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。

研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修、土曜講座など。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	教育公務員特例法、 浜松市教育センター条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	28,282	27,501	22,929	26,719	32,243
	決算	24,640	23,136	19,985	20,875	
	国・県支出					
	市債					
	その他	5,559	5,431	5,712	7,285	8,721
	一般財源	19,081	17,705	14,273	13,590	23,522
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		63,000	63,000	63,000	63,000	77,000
人工	正規	7.0	7.0	7.0	7.0	9.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

ターゲットでは、「4.1 すべての子どもが、男女の区別なく、適切かつ効率的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。」とされており、当該事業目的である、効率的かつ高度な研修をとおして、教職員の資質の向上と指導力の向上を図ることで、その効果が子供たちに反映され、ターゲットの達成につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
研修参加者の満足度 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	91	
目標値	70	70	75	75	85	85	87	
実績値	58	79	83	85				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.36】

浜松市教員育成指標を踏まえて、全ての研修を体系的かつ効果的に実施するための研修計画を立てるとともに、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。
 研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修、土曜講座など。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

経験研修(初任者、2年目、5年目、中堅教諭)においては、教職経験年数に応じた研修内容となっているため、非常に満足度が高いものになっている。それに対し、教科・領域に関する研修(学校経営、職能、力量等)では、豊かな経験や高い専門性があることから、研修生の求めるものがより高度になるため、研修形態や講義内容が少しでも合致しない場合には満足度が非常に低くなる傾向がある。研修の分類構成において、教科・領域に関する研修が7割以上を占めることから、満足度が低く抑えられていると考えられる。
 研修全体における満足度は、昨年度83%に対して今年度85%と上昇し目標値75%を上回った。また、情報教育に関する満足度は54%から55%に上昇しているが目標値75%を下回っている。全体的には研修計画の見直し効果が表れたと考えるが、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対する対応が今後の課題となる。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

研修のアンケート結果を分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討した。
希望研修の参加者を増やすため、研修ガイドブックにおいて希望研修内容がより伝わりやすくなるように工夫した。また、研修説明会等で希望研修の参加について周知徹底した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

教科・領域に関する研修について、目的に合致した研修内容となるように研修のアンケート結果を注視、分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討することで、より満足度の高い研修に繋げていく。
新学習指導要領をうけ、教員には、新学習指導要領を正しく理解し、教科毎の指導力を向上させる必要があり、そのための研修受講が重要かつ不可欠となることから、新学習指導要領の正しい解釈と理解、充実した指導内容を学ぶことのできる「各教科等授業改善研修」を令和元年度から実施する。また、事業見直しにより、「海外教育事情調査」を廃止し、教職員課の「小学校教諭英語指導力向上事業(マレーシア)」を当センターに移管した。

補助シート (事業名) 教職員研修事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
91	教職員の資質・能力の向上 ・教職員研修			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
36	情報教育の充実 ・情報教育研修 I～VII ・教科・領域研修 (情報教育) ・土曜講座 等 (プレゼン研修) (エクセル研修)	情報教育の充実 ・情報教育研修 I～V ・教科・領域研修 (情報教育)等	情報教育の充実 ・情報教育研修 I～V ・教科・領域研修 (情報教育)等	情報教育の充実 ・プログラミング教育研修 I ・情報教育研修 I～IV ・教科・領域研修 (情報教育)等

事業シート (事業名) 教育センター管理運営経費

◇事業目的・事業対象

施設の適正かつ安心・安全な管理運営を行うことを目的とする。

◇事業の概要

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市教育センター条例、消防法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	7,151	6,336	8,026	6,259	5,238
	決算	4,344	3,791	6,006	3,813	
	国・県支出					
	市債					
	その他	3,763	21	23	18	18
	一般財源 一般会計繰入金	581	3,770	5,983	3,795	5,220
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		27,400	27,400	27,400	27,400	30,200
人工	正規	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

移転改築により平成27年度から現在の教育センターとなっており、施設面において環境整備が行われ、電気設備においても最新の空調機器やLED照明等により、光熱費等の経費節減に効果をあげている。旧教育センターに比べ、規模が大幅に縮小されたため、幼・小・中の全市域を対象とした大規模な研修会等では、隣接する教育会館等を借用することで対応している。また、教育センター単独の研修において、駐車場台数(枠内108台)が限られているため、教育会館駐車場を借用する場合がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後、引き続き教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行っていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う中で、更なる経費節減等に努めていく。